

平成29年度 学校自己評価システムシート (熊谷市立大幡中学校)

目指す学校像	高い志を持ち、確かな学力を身につける生徒 ○進んで学ぶ生徒 ○思いやりのある生徒 ○たくましい生徒
--------	--

重点目標	1 基礎的・基本的な力を確かに身に付け、主体的に学習に取り組む生徒 2 互いに認め合い、励まし合い、元気なあいさつをかわせる生徒 3 高い目標を持って、何事にも本気で取り組み、汗をかく生徒
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	事務局(教職員)	2名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	○学力向上の取り組み ○家庭学習の定着 ○低位の生徒が自信を付け、全員が声を出す英語科ラウンド制の実践	1 公開授業の実践 2 家庭学習時間の向上 3 英語科ラウンド制の定着	1 生徒の『学力向上』を図るため、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業実践をする。 2 家庭学習を2時間以上実施する。 テレビ・パソコン等の時間を減らす。 読書時間を増やす。 3 英語科のラウンド制を充実させる。	1 指導力向上のため、公開授業各教師2回実施する。 2 家庭学習を学年+1時間以上実施した生徒を50%以上にする。 平日にテレビを見る時間が1時間以内の生徒を40%以上にする。 読書時間の増えた生徒を30%以上にする。 3 ラウンド制を1・2学年で導入する。		
2	○生徒会を積極的に活用した、人間関係づくりの充実 ○大幡中学校生の地域への見える化 ○相手を思いやることのできる生徒の育成	1 コミュニケーション能力の向上 2 地域活動への貢献 3 人間関係の向上	1 「朝のあいさつ運動」を実践する。 2 朝のボランティア清掃を実践する。 大幡校区連絡会活動への積極的な参加をする。 3 人権週間を実施する。 ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進する。	1 生活委員、生徒会による朝のあいさつ運動を月1回実施する。 2 各部活動交代で、毎日行うことができるようにする。 植え付け、収穫祭に年2回参加する。 3 人権週間を年2回実施する。 大幡小中特別支援学級の交流会を年2回以上実施する。		
3	○体力向上の推進 ○家庭での生活習慣の向上のための、家庭への支援 ○早い時期での避難訓練実施	1 新体力テストの向上 2 HQCシートの活用 3 小中合同避難訓練の向上	1 新体力テストを年に2回実践する。 2 健康教育の取組(HQCシート)の取組を年2回実践し、個別の指導に生かす。 3 防災教育を推進する。	1 総合評価でC判定以上の生徒を85%以上にする。 2 朝ご飯をしっかりと食べる生徒を100%以上にする。 食育の推進(栄養教諭による指導)年10回 3 小中合同避難訓練で小中学校間の連携を向上させる。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成29年 3月 3日
学校関係者からの意見・要望・評価等	